Creative Enzymes®

グルタチオン S-トランスフェラーゼ、組換え

Cat. No. NATE-1141

Lot. No. (See product label)

はじめに

□明	グルタチオン S-トランスフェラーゼ (GST) は、以前はリガンディンとして知られていた、真核生物および原核生物の第 II 相代謝アイソザイムのファミリーであり、解毒の目的でグルタチオン (GSH) の還元型を外因性基質に結合させる能力で最もよく知られています。GSTファミリーは、細胞質、ミトコンドリア、およびミクロソーム—MAPEGとも呼ばれる—タンパク質の3つのスーパーファミリーで構成されています。GSTスーパーファミリーのメンバーはアミノ酸配列において非常に多□であり、公共データベースに登□されている配列の大部分は機能が不明です。酵素機能イニシアティブ (EFI) は、新しいGST機能を特定するためのモデルスーパーファミリーとしてGSTを使用しています。
用途	遺伝子工学において、GSTは高効率の発現ベクターを構築するために一般的に使用され、分子シャペロンとして多くの難しい発現タンパク質と共発現することで、最終的に可溶性の発現を達成します。
別名	グルタチオンS-トランスフェラーゼ; GSTs; GST; グルタチオンS-アルケン転移酵素; グルタチオンS-アルキル転移酵素; グルタチオンS-アラルキル転移酵素; グルタチオンS-アリル転移酵素; グルタチオンS-エポキシ転移酵素; RX:グルタチオンR-トランスフェラーゼ; EC 2.5.1.18; 50812-37-8

製品情報

外□	白い粉末、凍結乾燥または無色の液体
EC番号	EC 2.5.1.18
CAS登□番号	50812-37-8
分子量	About 26kDa (SDS-PAGE detection)
純度	>90%（SDS-PAGEテスト）
緩衝液	PBS, PH7.0

保管・発送情報

保存方法	4°C、長期保存のために-20°Cで保管してください。